

平成27年度第2回千葉県社会福祉審議会低所得階層福祉専門分科会  
開催結果概要

- 1 日 時 平27年11月2日(月)  
午後1時30分から同2時00分まで
- 2 場 所 県庁南庁舎別館2階 第7会議室
- 3 出席委員 大野トシ子分科会長、大坪紘子委員、白戸章雄委員、  
松下浩明委員  
(委員：総数7名中4名出席)

○事務局 神部健康福祉指導課長、岩谷副課長、下村班長、小泉主査

4 会議次第

- (1) 開 会  
(2) あいさつ  
(3) 議 題

ア パブリックコメントなどの実施結果について  
イ 千葉県子どもの貧困対策推進計画案について  
ウ その他

- (4) 閉 会

5 議 事

ア パブリックコメントなどの実施結果について

- ① 事務局説明  
別添「資料」により説明
- ② 主な意見及び質疑応答  
特になし

イ 千葉県子どもの貧困対策推進計画案について

- ① 事務局説明  
別添「資料」により説明
- ② 主な意見及び質疑応答

(意見)

前回、いろいろお願いして、大分良くなったと思う。

パブコメなどで、いろいろ出された意見を見ますと、今までやっている事業について、単に羅列しただけではないかというような見方があるが、私は、それはそれで良いのではないかと逆に思う。

社会補償費が、どんどん際限なく膨らんできており、あれもやろう、これもやろうなんていうのは、とても出来る時代では無い。

その中から、よく精選をして、必要なものは続けてやっていく。羅列と言われれば、そうかもしれませんが、それはそれで良いのではないか。

要は、計画の執行段階で、それぞれの事業が、今までバラバラにやっていたものを、有機的に繋げていくことが必要である。

これからガイドブックを作成するということですが、ガイドブックもきちんとしたものを作って頂いて、特に、貧困世帯のお母さんやお父さんというのは、1人でいろいろ仕事をやっていて、なかなか暇が無いと思う。いろんな手続きをするのにも、役場に何度も足を運ぶことなんてことは、とてもできることではないので、出来るだけ、ガイドブックのその部分を、よく充実して頂いて、分かりやすく、何度も役場に足を運ばなくても済むような、そういうやり方をして頂いたらどうかと思う。

羅列なんていう言われ方も、場合によってはするかもしれませんが、こういう厳しい時代に、あれもやろうこれもやろうなんて言うことはとても出来ないので、優先順位を付けて、執行段階で取り組んでいただければ良いかなと思う。

ウ その他

特になし

## 6 答申内容

子どもの貧困対策の推進に関する法律（平成25年法律第64号）第9条第1項に基づく「千葉県子どもの貧困対策推進計画」について、「千葉県子どもの貧困対策推進計画案」のとおりとすることが適当である。

以上